

相馬所長がサプライズガイドとして登場

「あのひととさるく幕末長崎」の企画で

長崎さるく

昨年11月28日、「あのひととさるく幕末長崎」という長崎さるくの関連企画に、相馬所長がサプライズガイドとして登場した。これは、田上長崎市長や地元テレビ局のアナウンサーなど長崎にゆかりのある著名人らが、「さるくガイド」として長崎の街を案内するもの。所長は「グラバーさんが暮らした丘コース」の一部を担当した。

穏やかな快晴のなか、約20人の一行は全日空ホテルからグラバースカイロードを通り、グラバー園内を“さるき”ながらガイドブックでは知ることのできないエピソードや裏話に耳を傾けた。

所長は、旧三菱第2ドックハウスやグラバー邸ほか、岩崎彌太郎や長崎造船所について紹介した。コースの最後には、所長から三菱と岩崎彌太郎にまつわるクイズも出題された。

参加者の一人は「ユーモアを交えながらの楽しく分かりやすい説明で、三菱重工や岩崎彌太郎をとて身近に感じました」と感想を語っていた。



「楽しくて分かりやすかった」と好評だった相馬所長（右から2人目）のガイド



三菱と岩崎彌太郎にまつわるクイズは参加者の興味を引いていた

ものづくりフェスタ2009へ出展

三菱長船を買い物客などにPR

昨年11月29日、長崎市浜町ベルナード観光通りで開催された「ものづくりフェスタ2009」に長船も出展した。これは、長崎県職業訓練開発協会がものづくりの楽しさを広く知ってもらうため毎年開催しているイベントで、今回は長崎を代表するものづくり企業である長船にも出展協力の依頼があったもの。

当日は、船ができるまでのパネル、客船「ダイヤモンドプリンセス」や風車、太陽電池の模型を展示した。また、子どもたちを対象にした当社ホームページの「キッズランド」も出展し、「船ができるまで」のクイズに答えながら、社長室を目指すゲームを体験してもらい子どもたちに楽しく学んでもらった。

イベント参加者だけでなく、買い物客など道行く人も足を止め、数多くの方がブースを訪れた。



買い物客も足を止め「風車」の説明に聞き入っていた



客船ダイヤモンドプリンセスの模型を見つめる児童の姿も



当社ホームページ「キッズランド」で当社製品について勉強中